



安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

製品名 : マイコレス T
会社名 : ロック化学製品株式会社
住所 : 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 5-29-10
電話番号 : 03-5731-9569
Fax 番号 : 03-5731-9570

推奨用途及び使用上の制限 :

飼料安全法、農林水産大臣の指定する飼料添加物 (抗菌性物質製剤)
飼料の品質の低下の防止、防かび剤

2 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性 (経皮) : 区分 3
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 1
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 3 (気道刺激性)
水生環境有害性 (急性) : 区分 3

* 記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起 : 危険
危険有害性情報 : 皮膚に接触すると有毒
: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
: 重篤な眼の損傷
: 呼吸器系の障害の恐れ (気道刺激性)
: 水生生物に有害



注意書き

安全対策

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

静電気放電や火花による引火を防止すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

屋外又は換気の良い区域のみ使用すること。

蒸気を吸入しないこと。

取り扱い後は良く手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

応急措置

火災の場合には適切な消火方法をとること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。

衣類にかかった場合：直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

保管

密閉容器に入れ、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

他の危険有害性

情報なし

3 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分：混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS 番号	濃度範囲	化審法	安衛法	PRTR 法
プロピオン酸	79-09-4	50%	(2) -602	(2) -602	非該当
パーミキュライト	1318-00-9	50%	非該当	非該当	非該当



4 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに医師連絡すること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師の処置を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 吸入 : 灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛。
- 皮膚 : 皮膚熱傷、痛み、水疱。
- 眼 : 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。
- 経口摂取 : 胃痙攣、灼熱感、吐き気、ショック又は虚脱、咽頭痛、嘔吐。
- 眼、皮膚、気道に対して腐食性を示す。

応急措置をする者の保護 : 情報なし

医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

5 火災時の措置

- 消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水、水噴霧
- 特有の危険有害性 : 極めて燃えやすく、熱、火花、火炎で容器に発火する。
消火後再び発火するおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されているときは、移動させない。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。



6 漏出時の措置

人に対する注意事項、保護具及び緊急措置

すべての着火源を取り除く。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

密閉された場所に立ち入る前に換気する。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護服を着用する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

掃き集めて、容器に回収する。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

二次災害の防止策

付近の着火源となる物を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。局所排気装置、全体換気装置を設置する。

注意事項 : 火気厳禁
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙

安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を充分に行う。
保護メガネ、保護手袋等の適切な保護具の着用。

衛生対策 : 取扱い後は良く手を洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

保管条件 : 涼しい所/換気のよい場所で容器を密封し保管すること。
火気厳禁。

容器包装材料 : 製品仕様容器に準ずる。



8 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度 : 設定されていない。

設備対策

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。適切な排気換気装置を使用する。

保護具

呼吸の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具 : 耐溶剤性保護衣、静電気防止加工長袖作業衣

9 物理的及び科学的性質

外観 : 小片～粉末

色 : 淡黄色～淡褐色

臭い : 特異臭

pH : 情報なし

融点・凝固点 : 情報なし

引火点 : 情報なし

爆発範囲 : 情報なし

溶解度 : 情報なし

比重 : 情報なし

粘度 : 情報なし

分解温度 : 情報なし

10 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件下では安定。

反応性 : 情報なし

危険有害反応可能性 : 通常の手扱い条件下では危険有害反応なし

混触危険物質 : 塩基、強酸化剤、アミン

危険有害な分解生成物 : 情報なし



1.1 有害性情報

急性毒性

: 経口

ラット LD50 : 2600mg/kg (PATTY(5th, 2001))、4260mg/kg (ACGIH(2001)) に基づき、JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。

: 経皮

ウサギ LD50 : 496mg/kg (ACGIH(2001)) に基づき区分 3 とした。

: 吸入 (ガス、粉塵、ミスト) データ不足のため分類できない。

: 吸入 (蒸気) ラットに飽和蒸気(4650ppm=14.01mg/L)を 8 時間暴露し死亡が認められなかった (ACGIH,2001) ことから LC0(8h) > 14.01mg/L/8h、即ち 4 時間暴露では LC0 > 19.9mg/L ? 20 mg/L/4h となり、JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分 5 又は区分外) とした。

皮膚腐食性・刺激性

: ウサギでの皮膚刺激性試験では、重度の刺激性がある (PATTY(5th, 2001)) との記述、壊死が認められる (ACGIH(2001)、(PATTY(5th,2001))、あるいは腐食性である (IUCLID (2000)) との記載に基づき区分 1 とした。EU でも R34 に分類している。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

: ウサギを用いた試験において重度の障害を起し重症度評価 10 段階中 9 を示した (HSDB(2006)) こと、また、別の試験では腐食性 (corrosive) の結果が得られた (IUCLID,2000) ことに基づき、区分 1 とした。なお、当該物質は皮膚に対しても腐食性物質として分類されている。

呼吸器感作性

: データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

: データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

: データ不足のため分類できない。

発がん性

: データ不足のため分類できない。

生殖毒性

: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・単回暴露

: ヒトで吸入により、鼻、喉、肺を刺激し、咳、喘息、息切れを起こす (HSFS(2001)) とされ、ラットで 4 時間吸入暴露後の所見として、呼吸器系の刺激が記載されている (HSDB(2000)) ことより、区分 3 (気道刺激性) とした。

特定標的臓器・反復暴露

: データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性

: データ不足のため分類できない。



1.2 環境情報影響

生態毒性

水生環境有害性・急性 : 甲殻類（オオミジンコ）での48時間EC50=22.7ppm
(SIDS,2007)であることから、区分3とした。

水生環境有害性・慢性 : データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていないため。

1.3 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
都道府県知事の許可を得た産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1.4 輸送上の注意

国際規則 : 陸上規制情報 : RID(欧州危険物鉄道輸送規則)、ADR(欧州危険物道路輸送規則)に従う。
航空規制情報 : ICAO-TI(国際民間航空条例技術指針)/TATA-DGR (国際航空輸送協会危険物規則)に従う。
海上規制情報 : IMDG(国際海上危険物規則)に従う。
国内規則 : 陸上規制情報 : 消防法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

1.5 適用法令

国内適用法 労働安全衛生法 : 表示対象および通知対象物質含有
化審法 : 表示対象および通知対象物質含有
PRTR法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非該当
高圧ガス保安法 : 非該当
火薬類取締法 : 非該当



1.6 その他の情報

引用文献

- ・ 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) (NITE)
- ・ GHS 対応化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度 (厚生労働省)
- ・ 田村製薬株式会社 マイコレス T SDS

記載内容の問い合わせ先：

ロック化学製品株式会社

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 5-29-10

電話番号：03-5731-9569 Fax 番号：03-5731-9570

ここに記載された危険性・有害性の情報は、当社の最新の評価に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う業者はこれを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解したうえで活用されるようお願いいたします。

本製品安全データシートは、新たな情報を入手した場合、追加・訂正されることがあります。